

みんなで支える 長寿のよろこび

～平成24年度東通村敬老会～

9月21日(金)、村体育館において、平成24年度東通村敬老会が行われました。

当日は、75歳以上の対象者1282名のうち470名が出席し、多くの来賓、保健協力員の方などから健康と長寿が祝福されました。

はじめに、越善靖夫村長から「東通村の今日までの発展は、皆さんが永年にわたり、村を想い育ててくださった賜物であり深く感謝申し上げます。皆さんがますます健康で長生きしていただき、引き続き東通村発展のためご支援ご指導くださるようお願いいたします」と挨拶が述べられた後、今年度めでたく百寿を迎えられる4名の方に内閣総理大臣表彰が贈られました。また、米寿夫婦

(88歳を迎えられた長寿夫婦)6組に青森県知事表彰が、卒寿(90歳)22名と傘寿夫婦(80歳を迎えられた夫婦)30組に東通村長表彰が行われました。

その後、齊藤道明下北地域民局地域健康福祉部長、小笠原清春村議会議長の祝辞に続き、相内亀村老人クラブ連合会長の乾杯で

祝宴に入りました。

祝宴に入ると、久しぶりの再会と健康を祝いながらお酒を酌み交わし、旧友たちと楽しそうに団らんする姿が各席で見られました。

また、アトラクションでは、保健協力員のほか、今年4月に開園した『こども園ひがしどおり』から、2歳児以上の園児188名がお遊戯を披露し、会場は笑顔と歓声でいっぱいとなりました。

祝宴の最後となる「おしまこ」では、多くの方々が踊りの輪に入り、熟練の手さばきを披露しました。参加者たちは、曲が流れるたびに元気に踊り続け、最後まで盛況のままに敬老会は幕を閉じました。



越善村長による挨拶



会場を盛り上げたアトラクション



乾杯の発声をする相内会長



祝辞を述べる小笠原議長



笑顔と踊りの輪を作った「おしまこ」



久しぶりの再会を祝して語り合いました

